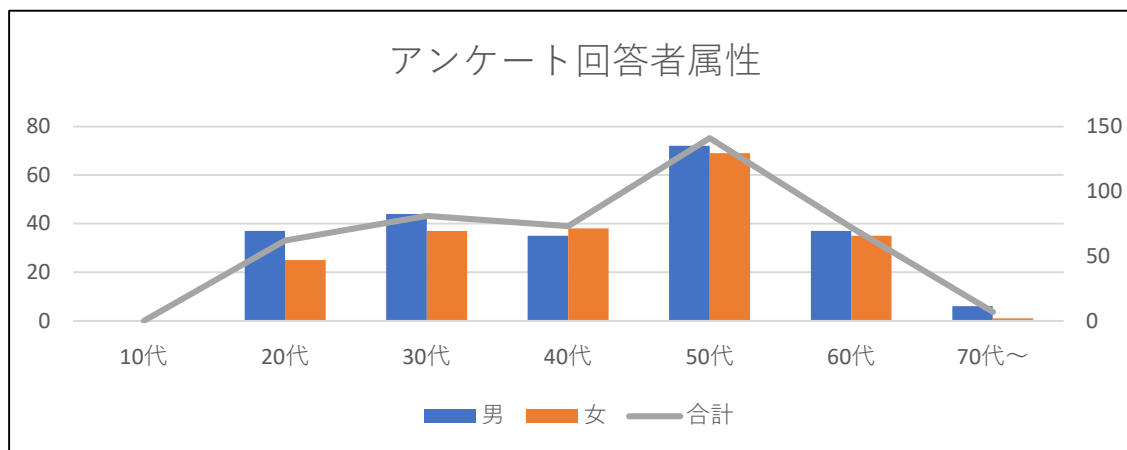


- アンケート実施月 2023.9月号回答数
- アンケート回答状況（※男女数は参考値）

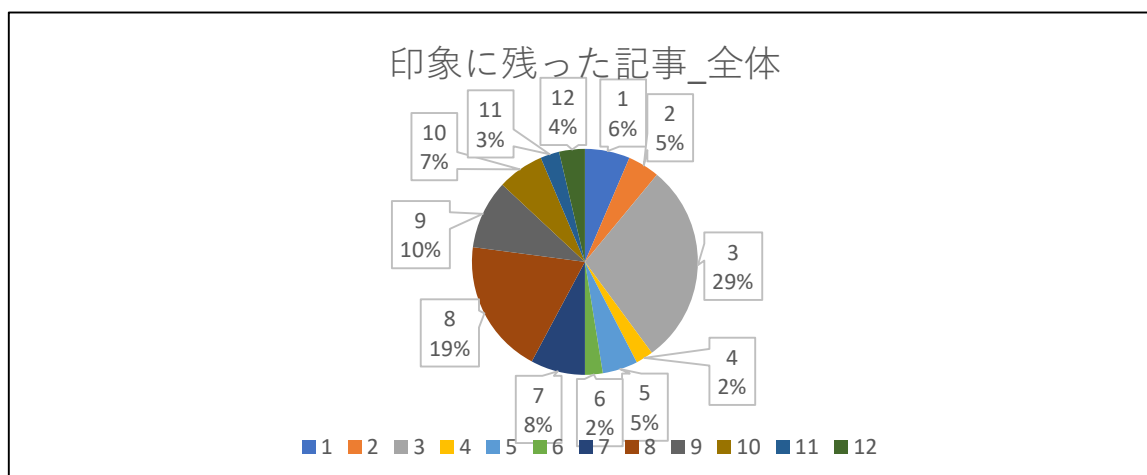
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男		37	44	35	72	37	6	231
女		25	37	38	69	35	1	205
合計	0	62	81	73	141	72	7	436



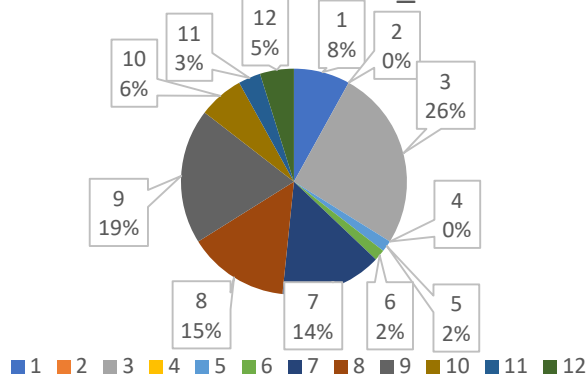
3. 印象に残った記事（性別、掲載面）

【記事一覧】

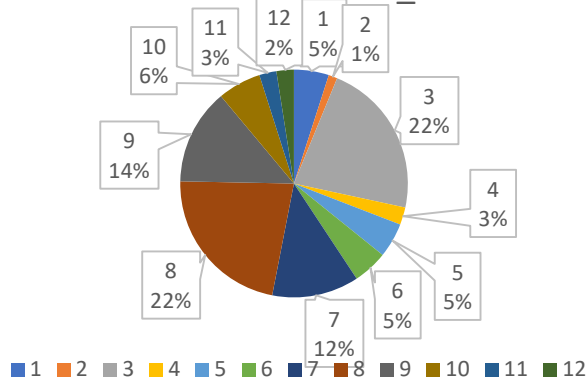
1. 自治労第97回定期大会
2. 東奔西走
3. 人事院勧告
4. 第43回全国保育集会
5. 原水禁世界大会・広島大会
6. 連合東京2023男女平等セミナー
7. 2023関東甲地区自治体職員等スポーツ大会（野球大会）
8. コラム カスハラが労災認定の項目に 組合がやるべきことは？
9. 機関紙パズル ほっと一息
10. 映画評
11. 私のおすすめ
12. エファジャパンの国際協力（1）



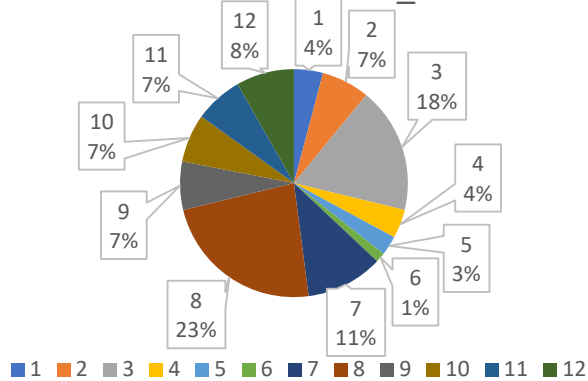
印象に残った記事_20代



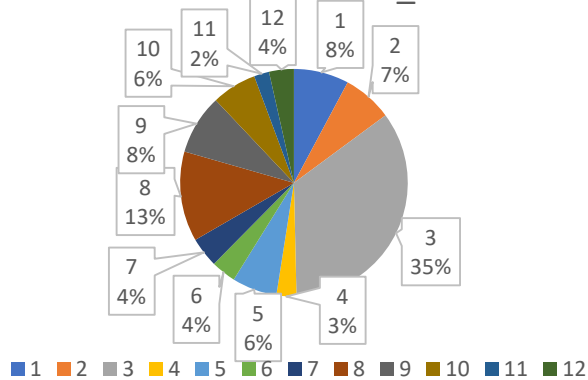
印象に残った記事_30代

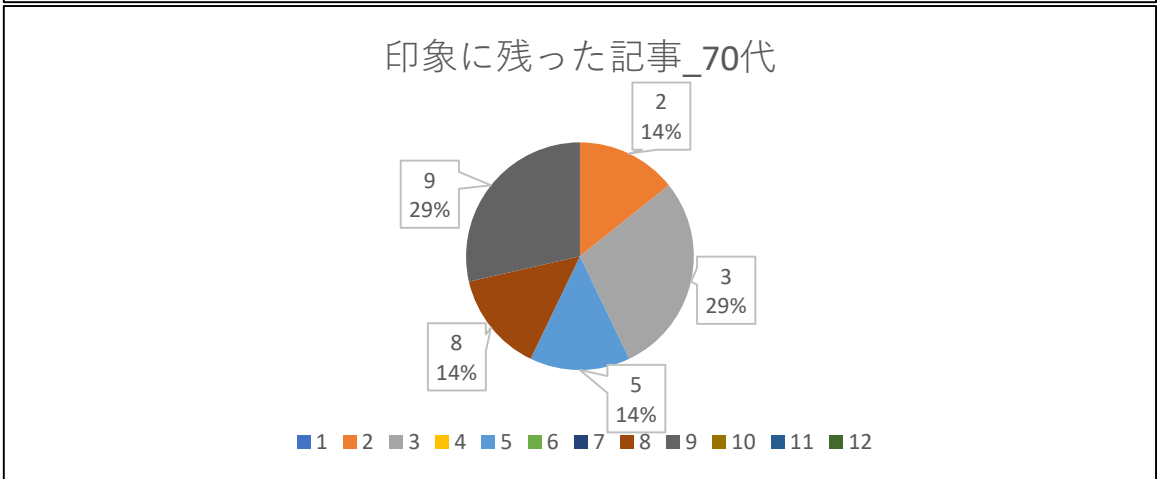
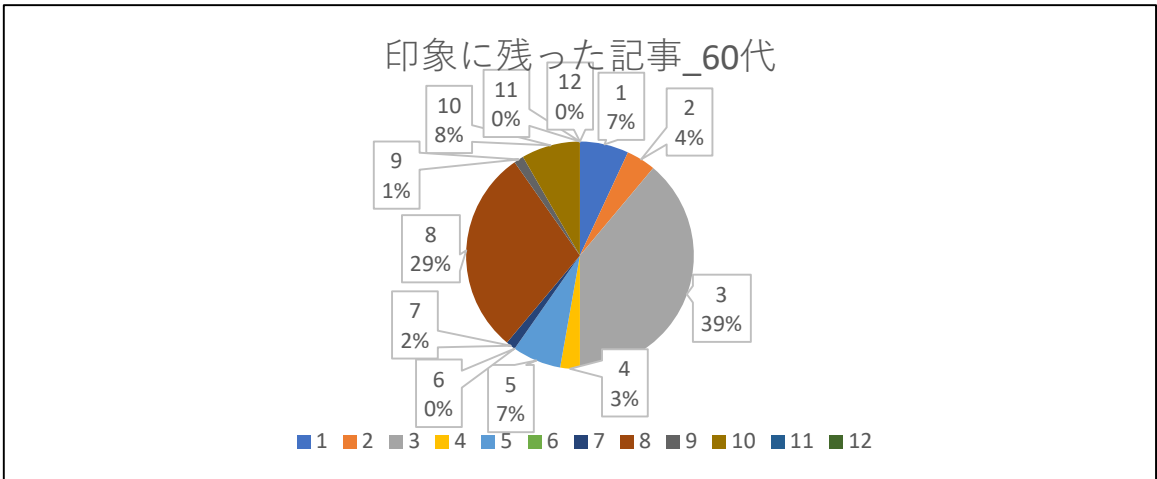


印象に残った記事_40代



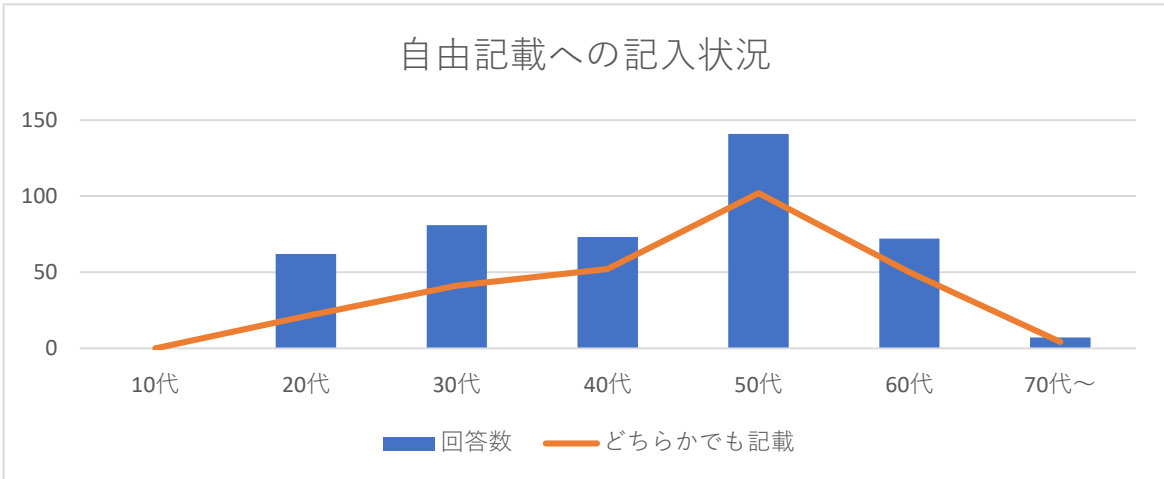
印象に残った記事_50代





4. 自由記載欄の記入状況

(1) 全体回答数における自由記載意見の状況



(2) 自由意見の傾向分析（単語出現数からの傾向）

2023年9月号における自由記載では「カスハラ」「職場」「勧告」「仕事」の単語が多く用いられている。

<カスハラ・職場>

・カスハラに対する声は多く寄せられており、組織的な対策を望む声が多く寄せられている。「大手企業や大病院のカスハラ対策が進む中で、ハランスメントの標的が、対策の遅れている役所に集中化してきているのかと感じる」（50代男性）や「窓口職場のため、カスハラを受けることが多いです。立場的にも職場で涙を流すことはできないため、ぐっと堪えますが、帰宅後入浴中や寝る時に涙することが多々あります。AIが進んでいるため、電話対応は機械対応にするなど職員が心身共に健康に仕事ができるよう負担軽減のための対策を早急に検討していただきたいです。」（40代女性）といった声もあり、早急な対応や対策にむけた取り組みが必要。

<勧告>

・引き上げ勧告とはなったものの物価高に追いつかず、納得がいかない声が多く寄せられている。「人事院勧告月齢給0.96%の引き上げだけでは、生活は苦しいです。もう少し上げてもらえないと、今までの暮らしでもカツカツなのに物価がこんなに値上げ値上げとなると、先は読めないです息を吸うだけでは生きていけません。もう少し給与上げてください」（50代女性）など切実な声や、「公務員の給与の引き上げを行わないと、優秀な人材の確保が出来ないのではと考える。」（40代女性）、「人事勧告で月例給与の引上げが載っていたが、数字で見ると物価高のわりに低い金額であることがわかりました。もっと金額を上げなければ職員の数は増えないと思います。」（50代女性）など人員確保への懸念を示す声も寄せられている。

<仕事>

・勧告内容に基づく声として「物価高が進み現在の給料では、仕事やっていくやりがいがないと感じているため、賃上げのために動いていただいて助かりました。」（20代女性）、「若者だけでなく、ひとしく中年層も給料を上げて欲しいな～と思いながら読んでました。私達が若年層の時は、下がり、中年層になって若い時より仕事の責任も量も増えたのにも関わらず上げてもらえないのは、なんだかな～と意欲が無くなってきそうです。」（40代女性）など声がある。

・「仕事が減らない一方で、職員が増えないことによる全体的な疲弊がどこの職場でも問題かと思えます。」（40代男性）といった人員不足への声も多い。